

# 旧相馬邸LEDライトアップ実証実験報告書(概要版)

## 1. 実証実験の概要

本実験では、2種類のライトアップ(A案:電球色,B案:昼白色)から受ける印象について評価する「ライトアップ評価」と函館山から見た夜景への影響について評価する「夜景評価」について、それぞれ写真パネルを見ていただいた後に、アンケート調査を行った。

なお、「ライトアップ評価」のアンケートの一部は、SD法(Semantic Differential technique)による印象評価とし、評価結果に基づき因子分析を行った。

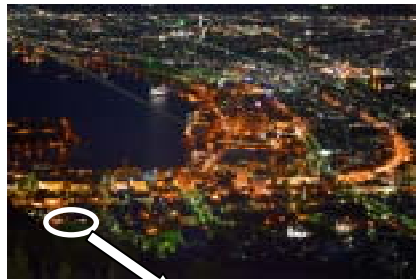


ライトアップA案(電球色)



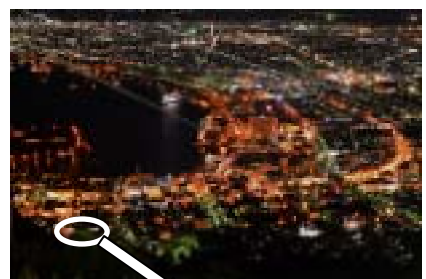
ライトアップB案(昼白色)

夜景A案  
(電球色)



旧相馬邸拡大

夜景B案  
(昼白色)



旧相馬邸拡大

## 2. 印象評価

印象評価のアンケート結果を視覚化したものが図1のイメージプロフィールである。

今回の印象評価では、A案の方が柔らかく歴史的で、暖かさを感じるが、B案ははっきりと目立っており、A案よりも現代的でクールな印象を持たれていると説明できる。

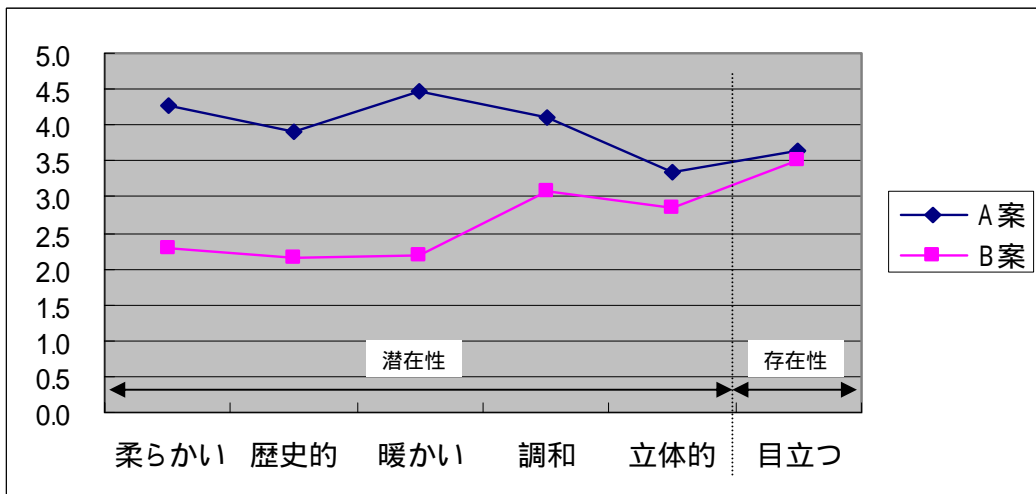
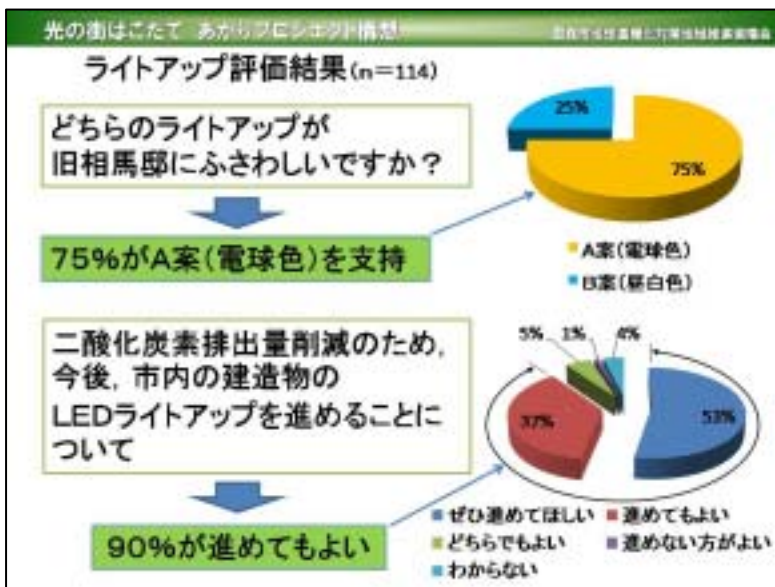


図1 旧相馬邸LEDライトアップのイメージプロフィール

### 3. ライトアップ評価

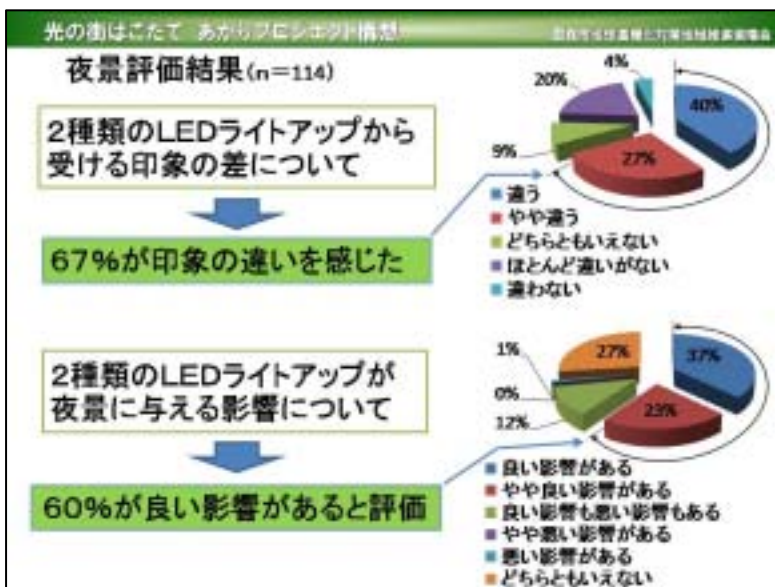


ライトアップ評価では、75%がA案（電球色）を支持する結果となったが、旧相馬邸が伝統的建造物であることから、このような差がついたと考えられる。

また、今後、LEDライトアップを進めることについて90%が進めても良いと評価するとともに、否定的な意見がほとんどなかったことから、従来照明によるライトアップと比較してもLEDライトアップに印象を悪くする要素はないと考えられる。

なお、性別による評価の差はほとんどないが、年代や通行経験による評価の差が比較的大きいことが判明した。

### 4. 夜景評価

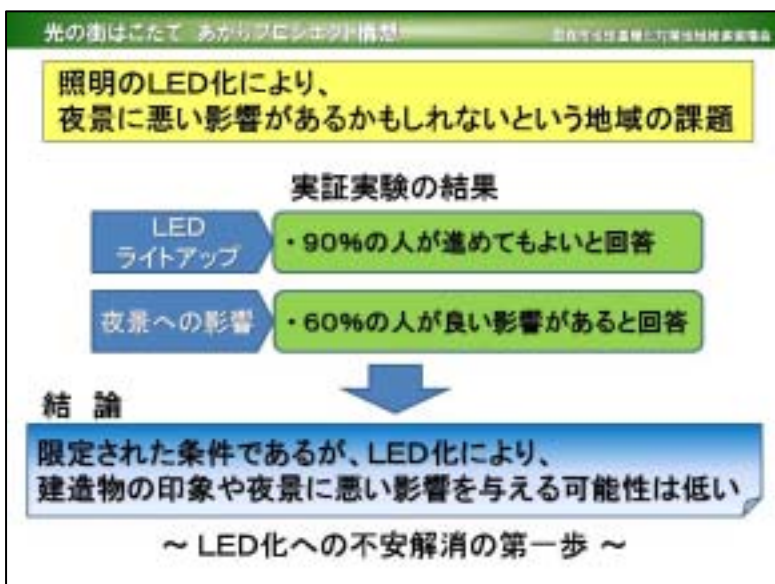


夜景評価では、67%がA案とB案の印象の違いを感じており、一軒のライトアップであっても、その違いが感じられることが判明した。

また、函館山からの夜景に与える影響については、60%が良い影響があると評価していることから、悪い影響を与える可能性は低いと考えられる。

なお、今後、市内の建造物でLEDライトアップを進める場合の注意点として、周囲との調和が66%で最多であったことから、周囲との調和を第一に考えた省エネルギーな夜景の創造が必要と考えられる。

### 5. まとめ



今回の実証実験は、対象施設が1施設のため、夜景の構成要素としての比重が小さく、その影響が限定的であることから、今後、LEDライトアップ施設が大きく増えた場合の影響や、夜景の構成要素としての比重が大きい道路照明や街路照明などのLED化の影響を考慮した総合的な判断を可能とするものではない。

このような限定された条件ではあるが、LED化により建造物の印象や夜景に悪い影響を与える可能性は低いと考えられることから、今回の結果は、LED化への不安解消の第一歩となる。